

PARCO



翻訳

出演

# THE POET SPEAKS

ギンズバーグへのオマージュ

2016.6.4 (SAT)

2:00 P.M. / 7:00 P.M.

SUMIDA TRIPHONY HALL

[www.parco-play.com](http://www.parco-play.com)

Patti Smith / Philip Glass

Translation: Haruki Murakami / Motoyuki Shibata

パティ・スミス  
フイリッポ・グラス  
村上春樹  
柴田元幸

# THE POET SPEAKS

ギンズバーグへのオマージュ

2016年6月4日(土)

2:00 P.M. / 7:00 P.M.

出演 パティ・スミス (Vocal & Guitar)

フィリップ・グラス (Piano)

翻訳 村上春樹、柴田元幸 (完全新訳)

## 言葉と音楽の巨匠たちによる夢の コラボレーション。一日だけの豪華特別版

音楽家・詩人にして、“パンクの女王”パティ・スミスと、現代音楽の巨匠フィリップ・グラスの競演作「THE POET SPEAKS ギンズバーグへのオマージュ」は、ふたりが生前深い親交をもち、今年生誕90周年を迎えるビート詩人アレン・ギンズバーグに捧げて創られた作品である。グラスの代表曲にのせて、スミスがギンズバーグと自身の詩を朗読する他、ファンには嬉しいスミスの弾き語りや、フィリップのピアノ独奏も含む豪華な内容。さらに日本での上演は、村上春樹、柴田元幸が劇中朗読されるギンズバーグとスミスの詩の新訳を手掛け、舞台上の大スクリーンに、ギンズバーグの写真・イラストとともに投影される特別版となる。スミスは、村上春樹著「色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年」刊行の際、ニューヨーク・タイムズに書評を寄稿、ギターケースには小説を入れて持ち歩くなど、村上作品を敬愛することでも知られる。反戦、平和への願い、物質主義へのアンチテーゼなど、今日の世界にも響く強いメッセージを放つ本作。世界が注目する言葉と音楽の巨匠たちによる夢のコラボレーションが、ここ日本で実現する。演奏予定曲:『FOOTNOTE TO HOWL』、『WICHITA VORTEX SUTRA』他

# THE COMPLETE ETUDES

ザ・コンプリート・エチュード

2016年6月5日(日)

3:00 P.M.

出演 フィリップ・グラス (Piano)

久石譲 (Piano)、滑川真希 (Piano)

## グラスのピアノ・パフォーマンス。究極の 集大成。最高の布陣で送るコンサート

フィリップ・グラスが自身のピアノ楽曲の集大成として90年代より作曲に取り組んだピアノ・エチュード20曲全てを演奏する貴重な演目。今年79歳を迎え、2005年以来11年ぶりとなる待望の再来日を果たすグラスのピアノ・パフォーマンスの真髄とも言えるコンサートだ。常に多くのアーティストとの協働を糧とし、進化を続けてきたグラス本人の意向で、毎回開催地のピアニストと共演する形がとられる。今回の公演は、「MUSIC FOR FUTURE」シリーズや、宮崎駿、北野武監督作品の映画音楽でも知られる日本が誇る現代音楽家久石譲、オーストリアを拠点に活動し、2014年発表のフィリップ・グラスのアルバム「The Complete Piano Etudes」で、全曲演奏を担当した至高のピアニスト滑川真希が出演。こちらも最高の布陣でおくる一度限りのピアノ・コンサートとなる。

## TICKETS

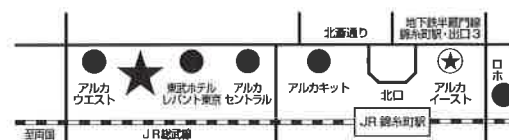
SS席 14,000円 S席 13,000円 (両演目共通・全席指定・税込)  
SOLD OUT!!

U-25チケット=6,000円 (観劇時25歳以下対象・当日指定席券引換・要身分証明書)

※U-25チケットはチケットぴあにて前売り販売のみのお取扱いです。 ※営利目的の転売禁止。

- チケットぴあ <http://w.pia.jp/t/philip/> 0570-02-9999 (Pコード:287-827)  
セブン-イレブン、サークルK・サンクス、チケットぴあ店舗
- ローソンチケット <http://l-tike.com/philip/> 0570-08-4003 (Lコード:33321)  
0570-00-0407 (オペレーター対応10:00~20:00) ローソン・ミニストップ (店内Loppi)
- イープラス <http://eplus.jp/philip/>
- トリフォニーホールチケットセンター <http://www.triphony.com/> 03-5608-1212 (10:00-18:00)
- 東京文化会館チケットサービス <http://www.t.bunka.jp>  
03-5685-0650 (オペレーター対応10:00-19:00) ※休館日除く

主催:株式会社パルコ 共催:すみだトリフォニーホール 後援:J-WAVE 企画制作:株式会社パルコ /  
POMEGRANATE ARTS / PONDEROSA MUSIC & ART 制作協力:株式会社エフ・スクエア  
特別協力:新潮社 協力:株式会社ソニー・ミュージック・レーベルズ 宣伝美術:株式会社岡本健デザイン事務所



### すみだトリフォニーホール

東京メトロ半蔵門線・JR総武線「錦糸町駅」徒歩5分  
TEL 03-5608-5400 〒130-0013 東京都墨田区錦糸町1-2-3

※開場は開演の45分前 ※未就学児の入場不可  
※館内託児サービス(有料)あり  
ご利用のお申込みは公演1週間前までに(株)小学館集英社プロダクション  
TEL 0120-500-315(平日10:00-17:00)へご連絡下さい。

問合せ:パルコ TEL 03-3477-5858

[www.parco-play.com](http://www.parco-play.com)

## フィリップ・グラス PHILIP GLASS



「現代最高の音楽家(米サンフランシスコ・クロニクル紙)」と称される。1976年、舞台芸術界の伝説的作品『浜辺のインシュタイン』発表。以降、オペラ、ダンス、映画からオーケストラ楽曲に至るまで活動は多岐に渡る。これまでデヴィッド・ボウイ、ミック・ジャガー、ベックなど彼の作品を敬愛する音楽家との多くのコラボレーションでも知られる。2012年高松宮殿下記念世界文化賞、2015年芸術のノーベル賞と称されるグレン・グールド賞受賞。映画音楽の代表作にダライ・ラマ14世の半生を描いた映画『クドゥン』、『美女と野獣』等。2005年、自身のアンサンブルとともに来日。愛知万博でも3日間に渡り公演を行う。オペラ作品に、ガンジーの非暴力主義を扱った『サティヤグラハ』、ウォルト・ディズニーの人生最期の日に光をあてた『ザ・パーフェクト・アメリカン』等。2011年東日本大震災発生の際には、ルー・リードらとともに、ニューヨークで行われた12時間に及ぶチャリティコンサート「CONECERT FOR JAPAN」に参加した。79歳を迎えた今もその活動はとどまるところを知らない。

## パティ・スミス PATTI SMITH



21歳の時ニューヨークへ渡り、後の写真家ロバート・メープルソープと出会う。朗読を行う詩人としてステージに立ちはじめ、後にギタリストレニー・ケイらとパティ・スミス・グループを結成。メープルソープがジャケットを撮影したデビュー作『Horses』をはじめ4枚のアルバムを発表。1979年、デトロイトへ移住。表立った演奏活動からは退く。フレッド・スミスと結婚し、アルバム『Dream of Life』をともに製作するも、94年フレッドは病のため急逝。失意の中、ボブ・ディラン、アレン・ギンズバーグらの励ましをうけ、1995年新アルバム『Gone Again』とともに活動を再開。過ぎた時間や死への瞑想とも評された同作は、高い賞賛を受ける。2011年ポラー音楽賞受賞。社会活動にも強い関わりを持ち、反戦運動をはじめ、様々な人権擁護団体の活動にも参加する。2013年来日時には被災地も訪れ、『Fuji-san』と名付けられた曲を演奏。ツアーを通じて集めた募金を東北へ寄付。また映画監督河瀬直美の呼びかけに応じ、『People Have the Power』の歌詞を静かに読みあげた3分11秒の映像を送るなど、復興支援に尽力した姿も記憶に新しい。

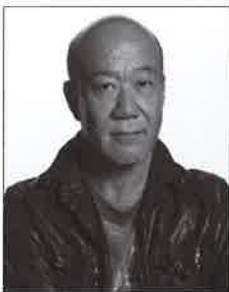
## 村上春樹 HARUKI MURAKAMI

1949年生まれ。79年『風の歌を聴け』でデビュー。主な長編小説に、『ノルウェイの森』、『ねじまき鳥クロニクル』、『海辺のカフカ』、『1Q84』、『色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年』がある。スコット・フィッツジェラルド『グレート・ギャツビー』、トルーマン・カポーティ『ティファニーで朝食を』、J・D・サリンジャー『キャッチャー・イン・ザ・ライ』をはじめ、翻訳も数多く手掛ける。著書を原作とした舞台、映画に、舞台『海辺のカフカ』(演出・蜷川幸雄)、映画『トニー滝谷』(監督・市川準)、『ノルウェイの森』(監督・トラン・アン・ユン)など。海外での受賞も多く、2006年フランツ・カフカ賞、2009年エルサレム賞、2011年カタルーニャ国際賞、2014年ヴェルト文学賞を受賞。

## 柴田元幸 MOTOYUKI SHIBATA

1954年生まれ、アメリカ文学研究者、翻訳家、東京大学文学部特任教授。ポール・オースター、スチュアート・ダイベック、レベッカ・ブラウン、ブライアン・エヴンソンなど、現代アメリカ文学を数多く翻訳。『生半可な學者』で講談社エッセイ賞、『アメリカン・ナルシス』でサントリー学芸賞、トマス・ピンチオン『メイスン&ディクスン』訳で日本翻訳文化賞受賞。近刊にスティーヴ・エリクソン『ゼロヴィル』、レアード・ハント『優しい鬼』、スティーヴン・ミルハウザー『ある夢想者の肖像』。その他の著書に『アメリカ文学のレッスン』、『ケンブリッジ・サーカス』、『つまみ食い文学食堂』、『死んでいるかしら』など。文芸誌「MONKEY」(日本語)、Monkey Business (英語) 責任編集。

## 久石譲 JOE HISAISHI



大学在学中よりミニマル・ミュージックに興味を持ち、現代音楽の作曲家として出発。84年の映画『風の谷のナウシカ』以降、『風立ちぬ』(13)まで宮崎駿監督の全作品の音楽を担当。2001年、映画監督として初メガホンをとり『Quartet カルテット』を製作、日本初の音楽映画としてモントリオール映画祭ワールドシネマ部門正式招待作品に選ばれた。演奏活動においては、ピアノソロやオーケストラなど様々なスタイルを披露。近年はクラシックの指揮活動のほか、現代の音楽の作品を手掛ける。『MKWAJU』(81)から『WORKS IV -Dream of W.D.O.-』(14)まで多数のソロアルバムを発表するなど、活躍の場は多岐にわたる。国立音楽大学招聘教授。09年紫綬褒章受章。

## 滑川真希 MAKI NAMEKAWA



2014年発表のフィリップ・グラスのアルバム「THE COMPLETE PIANO ETUDES」では、20曲全ての演奏を担当、同作はiTunesクラシック部門1位を獲得、BBC マガジンでも絶賛を受ける。2013年、グラスとともにピアノ・エチュード全20曲を初演。ソリストとしての共演に、米カーネギー・ホールでのアメリカン・コンポーザーズ・オーケストラをはじめ、シアトル交響楽団、ロイヤル・コンサート・ヘボウ管弦楽団、ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団、バンベルク交響楽団など多数。デニス・ラッセル・デイビスとのデュオとしても2005年から欧米各地で演奏を継続する他、フィリップ・グラス主要作品の初演も数多く手掛ける。

### パティ・スミスさんのこと

文：村上春樹

僕が数年前にベルリンで何かの賞を受けたとき、授賞式にパティ・スミスさんがわざわざ飛行機に乗って来てくれて、お祝いのギター弾き語りをしてくれた。主宰したドイツの新聞社の人に「またどうして?」ときいたら、「声をかけてみたら喜んでくれた。自分のマイルージで切符を買うから交通費はいらない。そのかわりブレイトがベルリンで定宿にしていたホテルの部屋をとってくれ。それが彼女の出した唯一の条件だった」ということだった。式のあとで二人でご飯を食べながらいろんな話をした。ずいぶん不思議な人だった。まるで地上から数センチだけ浮かんで生きているような人だ。今回、来日する彼女のために、彼女とアレン・ギンズバーグの詩の翻訳ができることを、僕としてはとても嬉しく思う。彼女の鋭くタフなヴォイスに負けないような翻訳ができるといいのだけれど。